

美南駅前の総合病院進出 1月下旬に選定委員会で審査

伊藤 正勝



問 東口開発地の商業・業務ゾーン。駅に面したAブロック（1.3ヘクタール）に総合病院進出の動きがあるが、現状の説明を。

答 8月下旬に募集要項を公表。11月下旬に進出希望の事業者を公募。その結果、複数の応募があった。12月下旬に書類審査。1月下旬に選定委員会で二次審査を行い、優先交渉権者を決定していく。隣接のBブロック（3.1ヘクタール）についても応募があった。事業者名等は審査の都合もあり公表できない。

◆旧庁舎跡地の「福祉拠点」計画は

問 進展状況は。その必要性、実現性は。

答 庁内検討委員会や福祉団体説明会での意見を踏まえ基本構想を作成した。その後、基本計画検討委員会を設置し、2回開催。民間企業からの提案やアドバイスも受けた。1月中旬に「基本計画」を策定する。地域コミュニティを支える福祉的な拠点機能が必要との観点から、必要があると認識している。市民の皆さんが活用し、福祉につなげていく、利便性もあり、実現性はあると考えている。

第9期吉川市介護保険 事業計画(案)について

稲垣 茂行



問 計画策定の基本的な考え方及び関係団体や利用者へのヒヤリングは。

答 令和6年度から始まる第9期計画は、今後、一層の高齢化が進むことで発生する変化や課題を捉え、適切に対応していくことで「高齢者の幸福実感実現」を目指す。そのため、市内の65歳以上3,000人を対象に「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施し、また、在宅で要支援・要介護認定を受けている1,500人を対象に「在宅介護実態調査」も実施した。合わせて市内の全介護保険サービス事業所及び複数の関係団体へアンケート調査を実施している。

問 第9期計画におけるフレイル予防の推進、地域型介護予防教室の支援、在宅医療・終末期の理解促進拡充の意図と具体的内容は。

答 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることを目指す「地域包括ケアシステム」の推進に資することを意図している。

具体的には、フレイルチェックやなまらん体操の推進、エンディングノートの普及・啓発等、既存事業を軸に関係機関と連携し、効果的な事業の推進に取り組んでいく。

スポーツ環境の整備の 進捗状況は

稲葉 剛治



問 吉川美南駅東口の多目的広場の利用を想定している団体は。

答 汎用性の高い多目的広場グラウンドとして運用するが、少年サッカーやグラウンドゴルフなどの団体利用も想定している。

問 設備や備品についての考えは。

答 防球ネット、サッカーゴールなどの設置を予定しているが、調整池の上面利用という制約の中で関係各課と調整の上で決定する。

問 この多目的広場の使用開始予定日は。

答 令和7年度のはじめぐらいを予定しているが、調整池の上面利用という制約があるので流動的なところが出てくる可能性はある。

問 総合体育館改修の方向性、周知について。

答 新設から40年が経過し、経年劣化が著しく、外壁改修、防水設備の改修などと合わせ、空調機の設置や音響設備の更新、フットサルの利用が可能となる設備の整備、照明をLED化して環境負荷軽減に取り組む。改修工事で、令和6年7月から令和7年3月まで全館利用停止となるため、ホームページへの掲載、館内への掲示、利用調整会議の場を活用し周知をはかる。

買い物支援と 移動販売について

大泉 日出男



問 現在の市内での移動販売の状況についてどのような状況か。

答 買物が困難な方へ移動販売を既に実施しており大変好評である。今回、新たに来年2月を目途に旭地区から順次、場所や時間を打ち合わせ、覚書を民間事業者と交わしている。

問 今後、買い物支援事業者に対してバックアップをきめ細かく、特に場所選定等の協議は定期的にしていくべきだと思うがどうか。

答 民間業者が主体的に参入をしてきた上で、市として必要に応じてサービス向上の改善に効果的、効率的に取り組んでいく。

◆带状疱疹ワクチン助成について

問 当市において、ワクチン接種助成に関する問い合わせは何件あるか。また、現在の状況と今後の取り組みの検討は。

答 具体的な件数は把握していないが、問い合わせはあると認識している。本ワクチンの副反応のリスクや効果など様々な議論があり、定期予防接種以外の予防接種は任意と考えている。公平、公衆衛生の観点から国での検証を待つ。